

第 713 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議 題 —

「フリートーク」

令和 7 年 7 月～12 月に放送したラジオ・テレビ番組及び
放送全般に関する意見交換

令和 7 年 12 月 18 日

BSn新潟放送

第 713 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 7 年 12 月 18 日(木)午後 4 時から

2. 開催場所 日本料理 大橋屋

3. 委員の出席

○ 委員側出席者（敬称略・順不同）

委員長	馬 場 省 吾	副委員長	佐 藤 元
委 員	高 橋 信	委 員	大 橋 未来子
委 員	馬 場 幸 夫	委 員	石 坂 智恵美
委 員	三井田 由 香	委 員	太 田 勇 二

○ 審議番組事前レポート提出者

委 員 渡 邊 信 子

○ 放送事業者側出席者

社 長 島 田 好 久
取 締 役 小 湊 潤（編成業務局担当役員）
取 締 役 島 田 譲（報道制作局担当役員）
事務局長 間 瀬 学（編成業務局長）
事 務 局 品 田 泰（編成業務局テレビ編成部長）

4. 議 題

1 報告事項 令和 8 年 1 月の番組について(各担当)

2 審議番組 「フリートーク」
令和 7 年 7 月～12 月に放送したラジオ・テレビ番組及び
放送全般に関する意見交換

5. 議事の概要

島田社長の挨拶、各担当が令和 8 年 1 月度番組報告。続いて令和 7 年 7～12 月に放送したラジオ・テレビ番組(自社制作番組、TBS ネット番組)及び 放送全般について意見交換がなされた。

～番組審議委員の主な意見～

ドラマへの評価

○ 日曜劇場「ザ・ロイヤルファミリー」

牧場や馬主という馴染みの薄い世界を扱いながらも、毎回の完成度が非常に高く、妻夫木聡氏や佐藤浩市氏を中心とした俳優陣の演技力がドラマの質を引き上げていた。

ちょっと展開が早すぎる回もあったが、今まで考えたこともなかった競走馬の宿命や命の重みを感じさせる上質な作品であった。

○ 火曜ドラマ「あんたが作ってみろよ」

現代的な家族や人間関係の機微を繊細に描いており、最終回の結末も潔く良かった。竹内涼真さんの代表になりうる作品だと思う。

パワハラやモラハラに関して考えさせられる内容だった。

スポーツ中継

○ 世界ブレイキンの放送は、実況や解説がわかりやすく躍動感があったが、新しい競技ゆえに競技人口や練習環境などの背景をより深掘りするともっと魅力が通じたのではないか。

○ 世界陸上はテンポが良く、会場の熱気もよく伝わり、ずっと見入ってしまった。

ただ女子の長距離でCMがあげたら、2位だった選手が8位に落ちてしまっていたことがあった。スポーツ中継におけるCM挿入のタイミングは難しいのだろうと感じた。

テレビの役割

○ SNSの情報氾濫の中で、事実を確かめてから伝える「オールドメディア」としてのテレビは、他メディアよりも信頼性のある情報源としての責任が増している。

○ 悪意のある編集やサクラの使用などはテレビ業界全体の信頼を揺るがす行為であり、新しく入る人材への教育を徹底し、信頼性にこだわった番組作りを続けてほしい。

○ 自分では探しに行かなかったような未知の世界や文化と出会わせてくれることこそが、テレビというメディアの持つ大きな力である。

○ これからもBSNならではのやりかたで新潟を輝かせて欲しい。

自社制作番組および地方局の課題

○ 「BSN news ゆうなび」への意見

非常に安定して見やすい番組であり、クマ被害に関連した林業への影響や障がい者雇用の特集など、地域の課題を鋭く切り取った特集は考えさせられる内容であった。

○ 偽警察官からの詐欺電話を録音して放送した企画は、詐欺の手口がよくわかり、消費者にとって非常に親切で有意義な内容であった。

- 地方局におけるアナウンサー不足や、キャリアアップを求めて他エリアへ流出してしまう現状は、番組制作や報道を支える上で深刻な課題であると感じる。
- 戦後 80 年の特番は印象に残るものが多かった。
- 「水曜見ナイト」の沖縄旅特集のように、出演者の個性が活かされ、親近感の湧くコンビの掛け合いを楽しめる番組は今後も期待したい。
- 「マツコの知らない世界」での新潟 vs 山形のラーメン対決のように、全国ネットの人気番組で地元のネタが取り上げられる機会を、局として積極的にプッシュしてほしい。

【文責:番組審議会事務局】